

令和8年6月19日

【技術的対話による企画競争の公表】

調達方法	技術的対話による企画競争
調達件名	審査システムに係る審査画面領域の設計・開発及び運用保守業務一式
契約予定事業者	フューチャーアーキテクト株式会社
調達部署	審査支払システム開発部 審査支払システム開発課
公告日	令和7年12月18日
説明会	令和7年12月22日
企画提案書提出日	令和8年2月12日（契約予定事業者からの提出日）
1次審査期間	令和8年2月13日～令和8年2月27日（15日間）
技術的対話期間	令和8年3月11日～令和8年4月22日（43日間）
改善提案書提出日	令和8年5月25日（契約予定事業者からの提出日）
最終決定日	令和8年6月19日
仕様書確定版提示日	令和8年6月19日（契約予定事業者への提示日）
契約日（予定日）	令和8年7月28日頃

《最終結果》

対話対象者の選定（事前審査）	提案書の提出事業者 3社（合格2社）
対話後の改善提案書の審査結果	フューチャーアーキテクト株式会社 総合点 251点 優先交渉権者 C社 総合点 249点 交渉権者
最終の技術的対話	優先交渉権者であるフューチャーアーキテクト株式会社との最終の交渉の結果、合意ができたため、契約予定事業者とする。

《フューチャーアーキテクト株式会社との技術的対話の過程》

技術的対話の時期、回数	令和8年3月11日～4月22日 1社あたり5回、2社で計10回
技術的対話における協議内容	○ 技術的対話では、主に以下の内容について、技術面を中心に説明を求め、実装方法について協議した。 ・モダン技術を活用したアプリケーション開発、テスト・実装の自動化や効率化 ・コンテナ等による軽量のシステムの起動が可能な仕組みの採用など、クラウドのメリットを最大限に活かしたシステム構成や実装方法 ・審査業務の実情を踏まえた画面・機能の共通化、画面数の縮減など実装の工夫 ・レセプト情報等を管理するデータベースの構成、データの整合性のチェック方法など ・秘匿性の高いレセプト情報を扱うシステムの特性を踏まえた「セキュリティ・バイ・デザイン」による設計段階からのセキュリティ対策、クラウドサービスの高度なセキュリティ対策の活用 ・プログラム開発・テストにおけるAIの活用、工数・費用の削減の工夫

	<ul style="list-style-type: none"> ・運用保守費の継続的な削減に向けた対策（運用管理の自動化など） ○ 契約予定事業者のグランドデザイン案（改善提案書）では、審査業務の実情を踏まえた各機能の具体的な実装方法、画面・機能の共通化の考え方と具体的な実現方法、AI 支援開発ツールの活用方法と活用範囲、AI の活用による具体的なコスト削減効果が示された。
--	---

《その他》

<p>技術的対話の採用理由</p>	<p>最近のシステム開発は、AI を活用した開発が浸透している。審査業務での利用場面を深く理解した上での画面・機能の共通化や、最新の技術的な知見を踏まえた開発方法と工数削減の工夫など、技術専門家が参画した技術的対話での提案者との協議を経て、優先順位をつけることが妥当である。</p>
<p>技術的対話に関する厚生労働省、デジタル庁、支払基金の技術専門家の評価</p>	<p>提案者との精力的な対話を通じて、審査画面に関する審査業務での利用場面の特性や AI を活用した開発の効率化など、発注者の問題意識や要望を具体的に伝え、双方で納得と理解を深めるとともに、プロジェクト遂行に資する提案がされた。</p>